

施設整備基本計画策定業務仕様書

1 業務の目的

行田羽生資源環境組合（以下「組合」という。）が計画する新ごみ処理施設整備事業の実施にあたり、基本の方針を定めることを目的として、施設整備基本計画を策定するものである。

2 対象施設

計画対象施設は、以下の廃棄物処理施設とする。

(1) ごみ焼却施設 約130t/日

(2) マテリアルリサイクル推進施設 約25t/日

(不燃・粗大ごみ、かん類、ペットボトル、剪定枝資源化施設、資源物ストックヤード)

3 業務内容

(1) 施設整備の基本条件の整理

施設整備にあたっての基本条件を整理するものとする。

- ① 処理対象ごみ
- ② 施設整備規模
- ③ ごみ質
- ④ 建設予定地の状況
- ⑤ 都市計画条件
- ⑥ 公害防止条件

(2) 環境保全計画の検討

設定した公害防止基準値を満足させるための公害防止技術等を検討するものとする。

- ① 排ガス処理方法の検討
- ② 排水処理方法の検討
- ③ 騒音対策の検討
- ④ 振動対策の検討
- ⑤ 悪臭対策の検討
- ⑥ 集じん灰処理方法の検討

(3) 採用可能な処理方式の検討

可燃ごみの処理技術について整理し、採用可能なごみ処理方式を検討するものとする。

(4) 余熱利用計画の検討

ごみの焼却処理に伴い発生する熱を積極的に有効利用するため、熱利用の可能性（用途、利用量等）について検討するものとする。

(5) 基本フローの検討

(1)～(4)を踏まえ、ごみ処理の基本フローをまとめるものとする。

① ごみ焼却施設

- ・全体（ごみ・灰・排ガス）フロー
- ・熱回収、熱利用フロー
- ・排水処理フロー

② マテリアルリサイクル推進施設

- ・全体フロー

(6) 機械設備計画の検討

施設を構成する主要な機器について、形式、必要な台数（予備数等）等を検討するものとする。

(7) 建築設備計画の検討

主要な建築設備の構造、必要な部屋等について検討するものとする。

(8) 配置計画の検討

車両動線、作業動線等を考慮して、全体配置及び主要機器配置を検討するものとする。
なお、地域の防災拠点として、施設等を有効に活用できるよう検討するものとする。

(9) 工事工程の検討

全体工事工程（実施設計、建築工事、機械工事、試運転期間等）を検討するものとする。

(10) 財源計画

プラントメーカーへのアンケート調査により概算事業費を算出し、財源計画を検討するものとする。

(11) 図面作成

以下の概略図面類を作成するものとする。

- ① 全体配置図
- ② 車両動線計画図
- ③ 平面配置図

3 成果品

- (1) 施設整備基本計画書 A4版 20部
- (2) 各種概略図面 一式
- (3) 打合せ議事録（要旨） 一式